

令和元年度

白河地方広域市町村圏整備組合  
一般会計歳入歳出決算及び基金の  
運用状況に関する審査意見書

白河地方広域市町村圏整備組合監査委員




2 白 広 監 第 9 号  
令和 2 年 9 月 1 1 日

白河地方広域市町村圏整備組合  
管理者 鈴木 和 夫 様

白河地方広域市町村圏整備組合

監査委員 鈴木 政 具 

監査委員 真 船 正 康 

令和元年度白河地方広域市町村圏整備組合一般会計決算審査の  
意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和元年度白河地方広域市町村圏整備組合一般会計歳入歳出決算及び関係書類、並びに同法第241条第5項の規定により審査に付された基金の運用状況を示す書類について審査したので、その意見を次のとおり提出します。



# 目 次

## ○決算審査意見書

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期日	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
第 5	審査の意見	1
第 6	審査の概要	3
1	決算の総括	3
(1)	歳入歳出決算状況	3
(2)	実質収支の状況	3
2	一般会計	3
(1)	概要	3
(2)	歳入	4
(3)	歳出	7
3	財産に関する調書	11
(1)	公有財産	11
(2)	物品	11
(3)	債権	11
(4)	基金	11



# ○ 決 算 審 査 意 見 書

# 決算審査意見書

## 第1 審査の対象

- 1 令和元年度白河地方広域市町村圏整備組合一般会計歳入歳出決算
- 2 令和元年度白河地方広域市町村圏整備組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- 3 実質収支に関する調書
- 4 財産に関する調書
- 5 基金の運用状況に関する調書

## 第2 審査の期日

令和2年9月11日

## 第3 審査の方法

審査の方法については、一般会計歳入歳出決算、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金の運用状況に関する調書が、法令に準拠して調製されているかを確認、それらの決算計数の正確性並びに予算執行の合法性の検証を主眼として、関係職員の説明を聴取して実施した。

基金の運用状況については、その計数が正確であるか、また、基金が適正に運用されているかを主眼として実施した。

## 第4 審査の結果

審査に付された一般会計の決算諸表は、いずれも法令に準拠して作成され、その計数は正確であり、予算執行状況についても概ね適正であると認められた。

また、基金の運用状況を示す書類も正確で、その運用も適正であると認められた。なお、審査の意見及び概要については、次のとおりである。

## 第5 審査の意見

一般会計の決算額は、歳入が予算現額5,349,219,000円に対し、歳入決算額は4,815,190,307円（対前年度比15.00%増）で、収入率は90.02%である。

歳出は、予算現額5,349,219,000円に対し、歳出決算額は4,516,914,169円（対前年度比12.27%増）で、執行率は84.44%である。

歳入歳出差引額の形式収支は、298,276,138円の黒字となり、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、143,925,138円の黒字決算となっている。

なお、実質収支額が前年度に比較して2.70%増加しているのは、歳入において分担金や国庫支出金の収入が増加し、歳出において公債費の支出が減少したことによるものである。



歳入決算額の款別の主なものは、分担金及び負担金で3,730,161,000円、使用料及び手数料で276,081,782円、国庫支出金で127,272,027円、繰入金で181,855,000円、繰越金で140,147,575円、諸収入で131,350,972円、組合債で225,500,000円となっている。

歳出決算額の款別の主なものは、総務費で357,012,498円、民生費で51,394,861円、衛生費で1,770,317,202円、消防費で2,258,584,445円、公債費で78,998,166円となっている。

款別の不用額としては、議会費43,003円、総務費11,457,502円、民生費1,367,139円、衛生費70,526,798円、消防費15,352,555円、公債費150,834円、予備費5,212,000円である。

前年度と比較して、増減額が大きな科目としては、次のとおりである。

歳入では、白河地方清掃センターの基幹的設備改良事業により国庫支出金が114,843,594円の増(対前年度比924.04%増)、同じく繰入金が31,315,000円の増(対前年度比20.80%増)、諸収入では、鮫川分署の消防ポンプ自動車の水損に係る損害共済金などにより28,778,190円の増(対前年度比28.06%増)となっている。

また、歳出では、衛生費で白河地方清掃センター基幹的設備改良事業などの増加により、477,981,341円の増(対前年度比36.99%増)、消防費で矢吹消防署・西郷分署・埴分署・鮫川分署の庁舎新築工事、小型水槽付消防ポンプ自動車購入などの増加により119,015,436円の増(対前年度比5.56%増)となっている。

最後に、令和元年度の一般会計歳入歳出決算の決算審査の概要については、上述したとおりであるが、本組合の歳入の大部分を負担する構成市町村においては、少子高齢化社会の到来が現実問題となり、今後も厳しい財政運営が予想される中で、本組合においても、老朽化が進んでいる各施設並びに設備等については、出来る限り延命化を図るとともに、計画的な事業を推進し、組織及び運営の合理化に努めながら、圏域住民の負託に応えるべく、引き続き、限られた財源を有効に活用した効率的な広域行政が推進されることを望むものである。

## 第6 審査の概要

### 1 決算の総括

#### (1) 歳入歳出決算状況

令和元年度の決算は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	歳 入	歳 出	差引(形式収支)
一 般 会 計	4,815,190,307	4,516,914,169	298,276,138

令和元年度を総括してみると、歳入決算額は4,815,190,307円で、歳出決算額は4,516,914,169円となり、歳入歳出差引額(形式収支)298,276,138円となっている。

#### (2) 実質収支の状況

(単位：円)

区 分	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実 質 収 支
一 般 会 計	298,276,138	154,351,000	143,925,138

歳入歳出差引額(形式収支)は、298,276,138円となっており、このうち翌年度へ繰り越すべき財源154,351,000円を控除した実質収支は143,925,138円である。

## 2 一般会計

### (1) 概 要

(単位：円)

区分 年度	決 算 額			翌年度へ繰り 越すべき財源 (D)	実質収支 (E) (C)-(D)	単年度収支
	歳入 (A)	歳出 (B)	差引(形式収支) (C) (A)-(B)			
元	4,815,190,307	4,516,914,169	298,276,138	154,351,000	143,925,138	3,777,563
30	4,186,995,048	4,023,087,473	163,907,575	23,760,000	140,147,575	6,539,607

※単年度収支＝当該年度実質収支－前年度実質収支

一般会計の決算は、歳入決算額4,815,190,307円に対し、歳出決算額が4,516,914,169円で、歳入歳出差引額(形式収支)は298,276,138円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は143,925,138円となっている。

この決算額を前年度と比較すると、歳入決算額で628,195,259円の増(15.00%)、歳出決算額で493,826,696円の増(12.27%)となり、それぞれ増加している。

## (2) 歳入

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	5,349,219,000	5,264,706,307	4,815,190,307	0	449,516,000	90.02	91.46
30	4,126,572,000	4,186,995,048	4,186,995,048	0	0	101.46	100.00
比較増減	1,222,647,000	1,077,711,259	628,195,259	0	449,516,000		
増減率	29.63	25.74	15.00	-	-		

歳入の決算額は4,815,190,307円で、その内訳は、分担金及び負担金3,730,161,000円、使用料及び手数料276,081,782円、国庫支出金127,272,027円、県支出金2,365,000円、財産収入456,951円、繰入金181,855,000円、繰越金140,147,575円、諸収入131,350,972円、組合債225,500,000円となっている。

款別では、次のとおりである。

### 1 款 分担金及び負担金

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	3,730,161,000	3,730,161,000	3,730,161,000	0	0	100.00	100.00
30	3,296,190,000	3,296,190,000	3,296,190,000	0	0	100.00	100.00
比較増減	433,971,000	433,971,000	433,971,000	0	0		
増減率	13.17	13.17	13.17	-	-		

分担金及び負担金の収入済額は3,730,161,000円で、歳入総額の77.47%を占めている。

内訳は、分担金で総務費分担金（総務管理費、第二次救急医療運営費、情報管理費、徴税费）302,104,000円、民生費分担金（介護認定審査費、障害支援区分判定審査費）50,558,000円、衛生費分担金（ごみ処理費、し尿処理費）1,242,717,000円、消防費分担金2,111,897,000円、負担金で特別会計負担金22,885,000円となっている。

### 2 款 使用料及び手数料

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	260,710,000	276,081,782	276,081,782	0	0	105.90	100.00
30	260,583,000	272,426,077	272,426,077	0	0	104.54	100.00
比較増減	127,000	3,655,705	3,655,705	0	0		
増減率	0.05	1.34	1.34	-	-		

使用料及び手数料の収入済額は276,081,782円で、歳入総額の5.73%を占めている。

内訳は、使用料で衛生使用料（ごみ処理使用料、し尿処理使用料）12,000円、手数料で衛生手数料（ごみ処理手数料、し尿処理手数料）270,982,882円、消防手数料（危険物関係手数料(395件)、罹災証明手数料(48件)、救急搬送証明手数料(1件)) 5,086,900円となっている。

### 3 款 国庫支出金

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	591,700,000	576,788,027	127,272,027	0	449,516,000	21.51	22.07
30	12,748,000	12,428,433	12,428,433	0	0	97.49	100.00
比較増減	578,952,000	564,359,594	114,843,594	0	449,516,000		
増減率	4,541.51	4,540.87	924.04	-	-		

国庫支出金の収入済額は127,272,027円で、歳入総額の2.64%を占めている。

内訳は、国庫補助金で、衛生費国庫補助金（廃棄物処理施設モニタリング事業補助金、循環型社会形成推進交付金）119,461,880円、消防費国庫補助金（原子力災害避難指示区域消防活動交付金）616,147円、委託金で衛生費委託金（指定廃棄物保管委託業務委託金）7,194,000円となっている。

### 4 款 県支出金

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	2,365,000	2,365,000	2,365,000	0	0	100.00	100.00
30	3,150,000	3,150,000	3,150,000	0	0	100.00	100.00
比較増減	△ 785,000	△ 785,000	△ 785,000	0	0		
増減率	△ 24.92	△ 24.92	△ 24.92	-	-		

県支出金の収入済額は2,365,000円で、歳入総額の0.05%を占めている。

内訳は、県補助金で消防費県補助金2,365,000円となっている。

### 5 款 財産収入

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	429,000	456,951	456,951	0	0	106.52	100.00
30	1,571,000	1,579,788	1,579,788	0	0	100.56	100.00
比較増減	△ 1,142,000	△ 1,122,837	△ 1,122,837	0	0		
増減率	△ 72.69	△ 71.08	△ 71.08	-	-		

財産収入の収入済額は456,951円で、歳入総額の0.01%を占めている。

内訳は、財産運用収入で利子及び配当金430,391円、財産売却収入で不動産売却収入（白河地方清掃センター井戸用地）26,560円である。

## 6 款 寄附金

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	1,000	0	0	0	0	-	-
30	1,000	0	0	0	0	-	-
比較増減	0	0	0	0	0		
増減率	0.00	0.00	0.00	-	-		

令和元年度の寄附金の収入はなかった。

## 7 款 繰入金

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	181,855,000	181,855,000	181,855,000	0	0	100.00	100.00
30	150,540,000	150,540,000	150,540,000	0	0	100.00	100.00
比較増減	31,315,000	31,315,000	31,315,000	0	0		
増減率	20.80	20.80	20.80	-	-		

繰入金の収入済額は181,855,000円で、歳入総額の3.78%を占めている。

内訳は、基金繰入金で廃棄物処理施設整備基金繰入金（用途：白河地方清掃センター基幹的設備改良事業）39,862,000円、消防施設整備基金繰入金（用途：矢吹消防署・西郷分署・埴分署・鮫川分署庁舎建設）141,993,000円である。

## 8 款 繰越金

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	140,147,000	140,147,575	140,147,575	0	0	100.00	100.00
30	133,607,000	133,607,968	133,607,968	0	0	100.00	100.00
比較増減	6,540,000	6,539,607	6,539,607	0	0		
増減率	4.89	4.89	4.89	-	-		

繰越金の収入済額は140,147,575円で、歳入総額の2.91%を占めている。

## 9 款 諸収入

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	65,851,000	131,350,972	131,350,972	0	0	199.47	100.00
30	53,682,000	102,572,782	102,572,782	0	0	191.07	100.00
比較増減	12,169,000	28,778,190	28,778,190	0	0		
増減率	22.67	28.06	28.06	-	-		

諸収入の収入済額は131,350,972円で、歳入総額の2.73%を占めている。

内訳は、組合預金利子29,699円、雑入の弁償金(東京電力榊損害賠償金)27,033,274

円、雑入104,287,999円ある。

雑入の主なものは、雑入で有価物売却代30,724,220円、公有自動車損害共済金24,250,000円、福島県消防防災航空隊員派遣助成金9,666,330円、東北自動車道救急業務に係る交付金9,377,640円、有償入札・再商品化合理化拠出金8,782,465円、福島県消防学校職員派遣助成金8,270,401円、一般廃棄物処理委託契約に基づく委託料6,434,491円などである。

## 10款 組合債

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
元	376,000,000	225,500,000	225,500,000	0	0	59.97	100.00
30	214,500,000	214,500,000	214,500,000	0	0	100.00	100.00
比較増減	161,500,000	11,000,000	11,000,000	0	0		
増減率	75.29	5.13	5.13	-	-		

組合債の収入済額は225,500,000円で、歳入総額の4.68%を占めている。

内訳は、衛生債（一般単独事業債：白河地方清掃センター基幹的設備改良事業）49,500,000円、消防債（緊急防災・減災事業債：小型水槽付消防ポンプ自動車(東分署・矢吹消防署配備)、一般単独事業債：矢吹消防署庁舎建設）176,000,000円である。

### (3) 歳出

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元	5,349,219,000	4,516,914,169	728,195,000	104,109,831	84.44
30	4,126,572,000	4,023,087,473	23,760,000	79,724,527	97.49
比較増減	1,222,647,000	493,826,696	704,435,000	24,385,304	
増減率	29.63	12.27	2,964.79	30.59	

歳出の決算額は4,516,914,169円で、予算現額5,349,219,000円に対して、84.44%の執行率となっている。

不用額は、予備費も含めて104,109,831円で、予算額に対する割合は1.95%である。

款別の不用額としては、議会費43,003円、総務費11,457,502円、民生費1,367,139円、衛生費70,526,798円、消防費15,352,555円、公債費150,834円、予備費5,212,000円である。

款別では、次のとおりである。

## 1 款 議会費

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元	650,000	606,997	0	43,003	93.38
30	612,000	553,077	0	58,923	90.37
比較増減	38,000	53,920		△ 15,920	
増減率	6.21	9.75		△ 27.02	

議会費の支出済額は606,997円で、歳出総額の0.01%を占め、予算現額650,000円に対して93.38%の執行率となっている。

支出の主なものは、議会費で議員報酬218,344円、旅費（費用弁償）192,000円などである。

不用額の主なものは、議会費の交際費の20,000円、役務費14,614円などである。

## 2 款 総務費

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元	368,470,000	357,012,498	0	11,457,502	96.89
30	378,577,000	365,364,948	0	13,212,052	96.51
比較増減	△ 10,107,000	△ 8,352,450		△ 1,754,550	
増減率	△ 2.67	△ 2.29		△ 13.28	

総務費の支出済額は357,012,498円で、歳出総額の7.91%を占め、予算現額368,470,000円に対して96.89%の執行率となっている。

支出の主なものは、一般管理費で給料43,618,908円、職員手当等26,902,809円、共済費14,480,749円、第二次救急医療運営費で負担金補助及び交付金26,901,630円。情報管理費で委託料（自治体情報セキュリティ強化対策システム保守・運用業務、白河広域イントラネットワーク運用保守管理業務など）41,979,749円、使用料及び賃借料（自治体情報セキュリティ強化対策システム、内部情報系システム、白河広域イントラネットワーク機器など）13,550,298円、徴税費で給料15,447,624円、職員手当等10,209,476円などである。

不用額の主なものは、一般管理費で職員手当等907,191円、情報管理費で役務費2,095,934円、工事請負費5,433,500円などである。

### 3 款 民生費

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元	52,762,000	51,394,861	0	1,367,139	97.41
30	50,889,000	48,979,615	0	1,909,385	96.25
比較増減	1,873,000	2,415,246		△ 542,246	
増減率	3.68	4.93		△ 28.40	

民生費の支出済額は51,394,861円で、歳出総額の1.14%を占め、予算現額52,762,000円に対して97.41%の執行率となっている。

支出の主なものは、介護認定審査費で報酬11,445,000円、給料14,695,800円、職員手当等8,341,971円、使用料及び賃借料3,410,202円。障害支援区分判定審査費で報酬1,235,000円などである。

不用額の主なものは、介護認定審査費の報酬430,000円、職員手当等408,029円などである。

### 4 款 衛生費

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元	1,876,298,000	1,770,317,202	35,454,000	70,526,798	94.35
30	1,330,098,000	1,292,335,861	0	37,762,139	97.16
比較増減	546,200,000	477,981,341	35,454,000	32,764,659	
増減率	41.06	36.99	-	86.77	

衛生費の支出済額は1,770,317,202円で、歳出総額の39.19%を占め、予算現額1,876,298,000円に対して94.35%の執行率となっている。

支出の主なものは、ごみ処理費で給料41,050,652円、職員手当等25,509,914円、需用費（光熱水費、修繕料など）369,662,782円、委託料（一般廃棄物収集運搬業務、クリーンセンター・リサイクルプラザ・埋立処分場施設管理等業務、災害関連分の飛灰収納運搬・埋立作業業務など）629,016,899円、積立金（廃棄物処理施設整備基金）104,789,557円などである。し尿処理費で需用費（光熱水費、修繕料、医薬材料費など）53,013,334円、委託料（施設運転管理等業務、基幹的設備改良工事に係る施工監理業務など）52,882,776円、工事請負費（白河地方清掃センター基幹的設備改良工事）421,200,000円などである。

不用額の主なものは、ごみ処理費で需用費17,452,218円、委託料39,499,101円。し尿処理費で需用費4,257,666円などである。



## 5 款 消防費

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元	2,966,678,000	2,258,584,445	692,741,000	15,352,555	76.13
30	2,169,876,000	2,139,569,009	23,760,000	6,546,991	98.60
比較増減	796,802,000	119,015,436	668,981,000	8,805,564	
増減率	36.72	5.56	—	134.50	

消防費の支出済額は2,258,584,445円で、歳出総額の50.00%を占め、予算現額2,966,678,000円に対して76.13%の執行率となっている。

主なものは、消防費で給料684,912,713円、職員手当等501,721,172円、共済費238,751,473円、委託料（指令センター・デジタル無線設備保守業務、西郷・埴・鮫川分署庁舎新築工事实施設計業務委託、前年度繰越明許の矢吹消防署実施設計業務など）106,491,488円、工事請負費（矢吹消防署・西郷分署・埴分署・鮫川分署庁舎建設関係工事）298,378,840円、備品購入費（東分署・棚倉消防署小型水槽付消防ポンプ自動車購入など）99,874,332円などである。

不用額の主なものは、職員手当等10,331,828円、委託料1,537,512円などである。

## 6 款 公債費

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
元	79,149,000	78,998,166	0	150,834	99.81
30	176,320,000	176,284,963	0	35,037	99.98
比較増減	△ 97,171,000	△ 97,286,797		115,797	
増減率	△ 55.11	△ 55.19		330.50	

公債費の支出済額は78,998,166円で、歳出総額の1.75%を占め、予算現額79,149,000円に対して99.81%の執行率となっている。

支出の内訳は、元金78,636,657円、利子361,509円である。

## 7 款 予備費

(単位：円・%)

区分 年度	議決予算額	充当額	予算現額	不用額	充当率
元	21,746,000	16,534,000	5,212,000	5,212,000	76.03
30	21,400,000	1,200,000	20,200,000	20,200,000	5.61
比較増減	346,000	15,334,000		△ 14,988,000	
増減率	1.62	1,277.83		△ 74.20	

### 3 財産に関する調書

決算審査に提出のあった調書に基づき、財産台帳等の関係諸帳簿について照合審査した結果、計数的に正確であると認められた。

#### (1) 公有財産

令和元年度当初における公有財産は、土地116,707.63㎡、建物21,995.50㎡となっており、全て行政財産である。

##### ① 土地

令和元年度当初現在高116,707.63㎡から令和元年度中に52.80㎡減少した結果、年度末現在高は116,654.83㎡となっている。

##### ② 建物

令和元年度当初現在高21,995.50㎡から令和元年度は増減がなかった。

##### ③ 動産

令和元年度当初現在高488,447千円から令和元年度は増減がなかった。

#### (2) 物品

令和元年度当初における購入価格500千円以上の物品の現在高120件から、年度末現在高は8増8減の120件である。

#### (3) 債権 なし

#### (4) 基金

令和元年度末における基金の現在高は、現金730,443千円である。

##### ① 廃棄物処理施設整備基金

平成30年度末現在高465,765千円から、令和元年度中に基金73,447千円を積み立てた結果、年度末現在高は539,212千円となっている。

##### ② 消防施設整備基金

平成30年度末現在高271,760千円から、令和元年度中に基金80,529千円が減少した結果、年度末現在高は191,231千円となっている。

